

平成26年度 学校評価報告書

学校名	三田市立ゆりのき台中学校
-----	--------------

1 学校教育目標

「温かさの実感、優しさの実感、そして夢と志を！」

2 今年度の学校重点目標

生命や人権を尊重し、正しい判断ができる生徒の育成
挨拶ができ、積極的に人間関係が築ける生徒の育成

3 総合的な自己評価

学校の教育活動における重点的な項目について、今年度は保護者アンケートをもとに学校自己評価を行った。特に問題となる点はなく、総体的に適切な教育活動を行っていると考えている。今後もきめ細かな指導を継続し、保護者や地域に信頼される学校づくりに取り組んでいきたい。

4 総合的な学校関係者評価

全般的に適切な教育活動が行われている。学校と保護者が連携して、生徒の育成に努めていくために、学校が積極的に情報発信し、今後も、職員と生徒・保護者との信頼関係を深め、地域に信頼される学校づくりを進めてほしい。

5 評価結果

自己評価				学校関係者評価
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
学校行事	学校・学年行事(1年転地学習・3年修学旅行・体育大会・文化祭・オープンスクール等)は、適切な内容で実施されているか。	本校の学校行事は多くの学校で実施している行事が主体であるが、アンケート結果から、保護者の高い評価が得られている。	授業時数の制約もあるが、今後も、多様な意見を集約し、生徒達にとって有意義なより充実したものになるよう検討していきたい。	夏休みなどの地域の奉仕活動も学校行事の一つとして取り入れ、奉仕の精神を学ばせてはどうか。
生徒指導	いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいるか。	いじめアンケートの実施や教育相談の時間を定期的に設ける等の取り組みを通して、いじめの早期発見・対応に努めている。	作成した本校のいじめ防止基本方針に基づき、職員による指導だけでなく、生徒会を中心としたいじめ撲滅運動を推進していく。	インターネットや携帯電話・スマホを通じて犯罪に関わる事案が増加している。いじめ等の指導においては、これらの機器の使用について、家庭の協力も得ながら進める必要がある。
学校重点目標	挨拶ができ、積極的に人間関係が築ける生徒の育成に取り組んでいるか。	保護者からは肯定的な評価をいただいたが、部活動の場面や個々の場面によって差が見受けられる。	身につけた知識や教養を活かしていくため、自分を積極的に表現できるよう、学校生活のあらゆる機会を通して育成していく。	声かけ事案が多い地域でもあり、誰にでも挨拶するというのは難しい面もあるが、学校・家庭・地域で協力しあって、子どもを育てていかなければならない。
学習指導	指導の工夫改善を図り、わかりやすい授業に取り組んでいるか。	生徒の学習への意欲も高く、授業にも真剣に取り組んでいる。今年度は学校全体で研究推進に取り組む、指導力の向上を図った。	授業のねらいと手立てを明確にした取り組みは、分かりやすく、職員の間でも共通理解が図れた。今後もこの取り組みを継続していくことが重要である。	学習面に対して関心の高い地域である。保護者の要望に応えながら、学力の定着・向上を図ってほしい。